

ホームページについて

濱谷修一

近年のインターネットの普及に伴い、「広島市植物公園をPRし、訪れたい気持ちを起こさせること」を最大の目的として、遅ればせながら平成13年3月からホームページの公開を開始した。運用開始一年を越え、平成14年12月末までに通算27000回を超える訪問の記録があったが、これまでの経緯とホームページの概要について振り返りたいと思う。

これまでの経緯について

平成12年夏ごろよりホームページ運営の必要性が指摘され始め、同年11月に職員による当園の公式ホームページ立ち上げの準備委員会が設立された。その中で、ホームページの管理・運営方法、ホームページの内容についての検討が行われた。

平成13年3月初旬にプロバイダにデータを送り、公開開始、6月17日に独自ドメイン(hiroshima-bot.jp)を取得、7月に中国新聞紙面にて紹介された。その後、様々なホームページからのリンクを受け付けながら、平成14年2月に各種検索エンジンへの登録を行った。

当ホームページへの訪問回数の推移は図のとおりである。開設後初めの一年間（平成13年4月から平成14年4月まで）は、12月を除き順調に月間訪問回数が伸びた。これは、当園のホームページの存在が徐々に知られていったことを示していると思われる。以後、平成14年12月までは、月間1200～2200回の間で変動した。特に4月と

10月にピークが認められるのは、より多くの方がいわゆる花の季節に植物公園についての情報検索を行なった結果と考えられる。おそらく今後も平成14年の1月から12月の間と似た推移が見られると予想されるが、絶対数を増加させ結果として入園者増に結びつくように内容の充実を図っていきたい。

ホームページの運営について

準備委員会では、ホームページの運営を外部に委託するか、職員自らが行なうかという点から検討が行なわれた。ホームページの最大の利点は、マスコミなどへの情報提供と異なり、速やかに、確実に発信できるという点である。作成・運営を外部に委託すると、原稿内容の決済にはじまり、業者へのデータの通知、校正などいくつかの段階を経なければならず、情報の新鮮さが失われる。特に、園内の開花情報などは「新鮮さ」が最重要視されるため、これは大きな問題であった。職員が作るホームページは専門の業者が作成する物と比べて見劣りする場合が多く、また、ホームページの運営（データの更新）にかかる労力は決して少ないものではないが、あえて新鮮さにこだわり、職員が独自で作成、更新を行なうこととなり現在に至っている。

当園では、ホームページの最大の目的を「広島市植物公園のPR」と位置付けている。内容は順次充実を図っているが、平成14年12月の時点では表のようになっている。

ホームページの内容の作成は原則として直接の担当者が行なっている。それらを管理課企画広報係のホームページ担当者がとりまとめ、一括してプロバイダへ送信

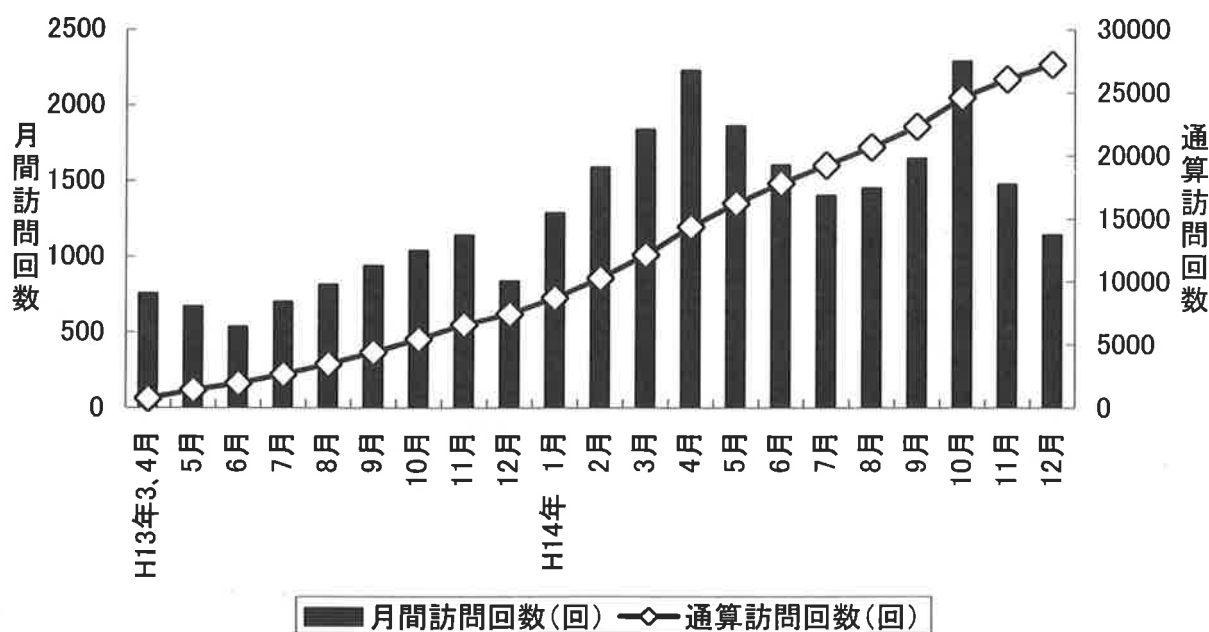


図. ホームページへの訪問回数の推移

している。これは、管理課と栽培課の事務所が離れており、管理課のコンピューターだけがインターネットと接続可能な環境下にあることからによる暫定措置であり、将来は個々の担当者が直接プロバイダに送信する事になるかもしれない。現在の内容の更新頻度はほぼ1週間に1回である。

それぞれの項目について、特徴と今後の展開予定について述べる。

①から④および⑩、⑪は特別なことが無ければ更新することが無いが、施設の紹介のためには最低限必要な情報である。⑦、⑧もイベント等の紹介として、開催前には当然公開されるべき情報である。⑩、⑪は、更新があまりなされていないが、内容的には日々新しい活動が展開されており、特にガイドの紹介は来園者へのサービスのPRとなることから、今後担当者の努力により更新頻度を高めていきたい項目である。また、「②園内のご案内」については、それぞれの施設における管理（栽培）担当者が自由に運営できるスペースを確保しているので季節ごとの見どころを紹介するなど工夫する職員もあり、内容の充実に一役買っている。

特に重視しているのは「⑤開花状況」と「⑥トピック」である。「今何が見られるか」ということは、当園のホームページに訪れる方の大きな目的の一つであると考えられる。そこで、⑤で最新の開花情報を、⑥で特に注目して欲しい情報を提供している。開花情報については、毎日更新が理想であるが、労力の面から現実的でないため、花の多い時期で週1回、花の少ない時期で2週間に1回程度の更新となっている。現在は定期的に園内を巡回し、デジタルカメラで撮影した画像を公開している。より魅力的で、実物を見たい気持ちをもっと沸き起こさせるページづくりが今後の課題である。

また、植物に関する特殊な情報の供給源として、「⑫研究紹介」と「⑬なんじゃ？こりゃ」がある。⑬は担当者の趣味的な思いつきから始まったコーナーであるが、特性があまり知られていないまま流通している植物についての情報を広く提供することを目的としている。また、⑫は当園においてこれまで行なわれてきた研究をより広く伝えるための試みであり、当園の活動紹介として重要な役割を持つコーナーである。平成14年12月末時点では、当園刊行の報告集である紀要および栽培記録のタイトル一覧と、栽培記録最新号の本文の掲載にとどまっているが、今後、紀要掲載全論文の要約と、外部に発表した論文の要約を掲載したいと考えている。「⑭季節の園芸作業」と「⑮植物Q & A」はありがちな内容として、また、相談件数の減少が期待されるのではないかという声もあり（当園では年間約4000件の植物に関する相談を受け付

表. ホームページの内容とページの作成分担

目次	内 容	担 当
①施設概要	簡単な広島市植物公園の紹介	管理課管理係
②園内のご案内	園内マップや園内の施設の解説	管理課管理係、栽培課栽培担当者
③入園のご案内	入園料、交通手段など	管理課管理係
④はなごよみ	園内で見られる主な植物の見頃の時期の紹介（一覧表）	栽培課栽培担当者（取りまとめ管理課企画広報係）
⑤開花状況	見頃の植物紹介（12～15枚の画像）	管理課企画広報係
⑥トピック	ぜひ知ってもらいたい情報（主にマスコミへ提供した情報の加工）	管理課企画広報係
⑦催し物のご案内	展示会、講習会、観賞会などのお知らせ	管理課企画広報係
⑧展示紹介	展示会の見どころや即売会の案内など	管理課企画広報係、詳細については展示会担当者
⑨お勉強プログラム	植物教室、自然体験学習プログラムなどの紹介	管理課企画広報係
⑩植物友の会のご案内	植物友の会の入会案内、行事計画	管理課企画広報係
⑪園内ガイドボランティアの紹介	園内ガイドボランティアの活動紹介	管理課企画広報係
⑫研究紹介	職員が中心となって行なった調査や研究	管理課企画広報係
⑬なんじゃ？こりゃ	花屋で見かけた「？」な植物についての解説	管理課企画広報係
⑭季節の園芸作業		栽培課栽培担当者
⑮植物Q & A		栽培課栽培担当者、管理課企画広報係

けており、それが他の業務への大きな負担となっている）、開設当初から項目が設けられていた。しかし、この手の内容は他施設や個人のホームページに充実したものが多数あり、ホームページを見ることが出来る人は当園以外のページで容易に情報を得ることが出来ることから、当園が同じようなHow to的なホームページを作成することの社会的な貢献度は低いと判断される。また、電話等による相談者はホームページを閲覧する手段の無い方かまたはホームページでは得られない情報を求めている方であることから、⑭⑮のような内容を充実させることによって相談件数が減少するとは考えにくい。むしろ前述の「⑫研究紹介」を充実させることが、「PRのためのホームページ」の本来の目的にかなうとともに、当園らしいサービスの向上になると考えている。

このほか、将来的にはホームページ上での参加型イベントの開催なども考えられるが、「ホームページに参加すると楽しいが、植物公園に行くともっと楽しい」ものとなるよう、施設の運営とのバランスを大切にしながら発展させていきたい。

最後に、当園公式ホームページのURLを記しておきます。

<http://www.hiroshima-bot.jp>